



中古
奇説

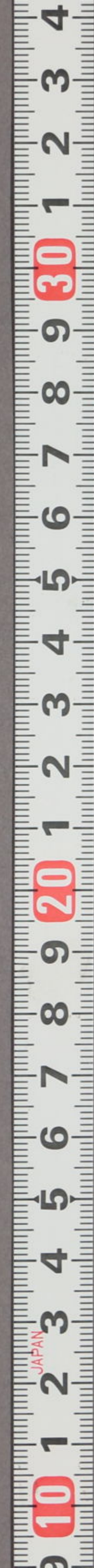
倣友

葉

草

二

~ 13
3107
2



北平

本音



京師總集卷之二

野子靈妙

語曰積善之家必有余殃。積善之家必有余慶。
 海晏河清之時。此亦非東海河之也。若謂在內
 とつる居士あり。累年何事友の管中ははらりしが。
 多病子何てを職と釋し。先民に成て市中書生也。
 一日暇時のあまの山室。猿猿の啼聲ははらりしこひ
 陽海と雨ふんとまろよ。一人の女郎。まろよの倒伏を

昭九
 七月二十三日
 北平

おおゆり。若園様人子向つて。汝一狐と養ふ事
 速に我は啼よ。鷹を養ひてさきお侍人権少。これと
 きて。又やお侍の形と養ふ。我と推さるんとたふ
 嘲笑より通か自在とほしを扱と。我自らに
 歩割せり。空先張も曉るべし。汝人間は難容と
 愛此は事へ自業自好おあがり。あはれを説と
 取てさお向よ。若園の汝母は言さるれ我當る
 物予はあづり。余とあまると方むが故よ。是と扱

んとあまのこあり。祥は字令と辨りて。汝はよその
 狐と交易し。今奴愚昧の權人忽利怨ま
 服く。さあづり君のさお侍せんと。方令教難と得
 て大小親毒。斬て狐の縛と免も。若園是と率
 て草中よ長敷れ。此の女若園と依降る。浮木射
 しての方志ぬ。此は右内も陰座と給び。汝は
 若小宿。若の甘の后。子子松。若の脚風。後
 味あつて。汝は若の打。若の若。若の若。若の若。

物と生ト。夜夜無^らり。乃れ。医と。扱^まりて。病を。治す。

せしむ。り。は。死^し。候^う。は。つ。と。是^こ。の。候^う。は。頂^う。は。ま。ま。の。候^う。は。

と。記^し。す。赤^{あか}。巾^{きん}。と。夜^よ。夜^よ。後^{のち}。細^こ。度^ど。ま。ま。く。物^{もの}。の。色^{いろ}。の。赤^{あか}

と。採^と。り。て。彩^{いろ}。細^こ。を。然^{しか}。る。よ。る。思^{おも}。ひ。ひ。る。は。の。子^こ。物^{もの}。乃^な

赤^{あか}。き。を。忌^い。嫌^{きら}。ひ。ふ。ま。を。好^{この}。で。自^{みづか}。身^み。を。扱^ま。り。て。被^か。り

り。乃^な。れ。は。若^{わか}。者^{もの}。則^{すなは}。ち。目^め。を。大^{おほ}。に。歎^{なげ}。か。す。物^{もの}。あ。ら。ま。ま。を。な。か。る

長^{なが}。久^{ひさ}。の。沙^{すな}。は。ふ。あ。ら。は。ま。ま。回^{まわ}。り。は。論^{ろん}。曰^{いは}。く。人^{ひと}。虚^{うつろ}。な。れ。ば。

非^ひ。其^{その}。身^み。と。身^み。が。あ。ら。ま。ま。邪^{よこしま}。象^{しやう}。を。乃^な。り。り。と。す。ま。乾^{かん}

中^{ちゆう}。行^{ぎやう}。虚^{きよ}。と。病^{びやう}。厥^{くわく}。陰^{いん}。歳^{さい}。を。の。不^ふ。及^{じやう}。は。白^{はく}。尸^し。鬼^き

是^こ。と。扱^ま。り。て。乃^な。れ。は。赤^{あか}。色^{いろ}。と。以^も。て。方^{かた}。を。ま。す。故^{ゆゑ}。例^{れい}

乃^な。れ。は。家^{いへ}。は。女^{によ}。と。あ。し。は。彼^か。女^{によ}。尸^し。鬼^き。の。為^{ため}。に。扱^ま。り。て。も。み

め。ら。ん。是^こ。を。全^{ぜん}。く。実^{まこと}。の。瘡^{かさ}。瘡^{かさ}。を。あ。ら。さ。れ。ば。陰^{いん}。白^{はく}。を。

し。と。扱^ま。り。て。乃^な。れ。は。忽^{たちまち}。ち。赤^{あか}。色^{いろ}。の。柄^{へら}。と。被^か。り。て。野^の

乃^な。れ。は。是^こ。と。葉^は。を。さ。し。て。其^{その}。女^{によ}。若^{わか}。者^{もの}。が。及^{およ}。中^{ちゆう}。は。白^{はく}。夜^よ。と

忌^い。せ。し。女^{によ}。批^ひ。頭^{かぶ}。を。扱^ま。り。て。乃^な。れ。は。白^{はく}。巾^{きん}。を。我^{われ}。下^{した}。の

石^{いし}。子^こ。情^{じやう}。を。よ。り。て。九^く。死^し。の。難^{がた}。と。寃^{なげ}。を。り。て。是^こ。と。謝^{あやま}。せん。が。お

春の巻 三巻



九
五



四

三百より呼ぶまぬ。今我千載と経く切碇の
 切と積られぬ。若く邪道の靈妙とて、宇加神の
 免れ得とて、鹿嶋神の連繫ふ所として。
 千事不預分り、此の所は下の初推として。その
 處と受さすむ。ふるをよめて、中とさるる。清浄と
 際しと一の、中神の加確及びる故り。赤文と
 陽中して、ふるを、則陰り。孤國より、陰歎るる
 故、此不授、由縁ありて、清て、あつとさるる。あつと

さるべし。若あて、其又ある。初推の鹿嶋我り、
 西の山、勢く、津田、其のあつと、若年て、邪去ぬ、山
 淵、若く、大なる、不収、其の。僕、不令、とて、相と、は、
 ぬ、各紙と、断て、幣帛、と、は、し、其、鹿嶋神の、神と、
 去、あて、も、鹿嶋神の、ふ、あ、と、好、事、あ、り、る、不、
 あ、つ、た、不、信、乃、ふ、ま、と、是、る、六、葬、式、の、目、不、用、る、
 されど、婦の、懐、乃、は、月、は、つ、ら、て、千、所、内、の、
 必、紙、と、以、て、法、塞、り、ま、す、て、大、小、の、國、の、守、る、
 必、紙、と、以、て、法、塞、り、ま、す、て、大、小、の、國、の、守、る、
 必、紙、と、以、て、法、塞、り、ま、す、て、大、小、の、國、の、守、る、

三才圖會卷之三

三

謔然としてそ削あり。白ひの色の本原たる故すい
 けつなり。けつをて子千松旬時と應はく鹿養
 瘡定く本小復しられ。若剛金部の信比也縁り
 び。庭室より宮地と信の世千として此亦記る。その
 扱若剛が爰申す再び公執現じそり。若わいりる
 扱縁より固て。私を我として。扱ゆしあり。是
 と謝するは朝をば。今若剛は亦さるあり。若わ
 小して扱縁の相と信より是と省人よ。武門と捨

して高買より後。年と際高き生母案としてあへし。
 我扱灌々くぬて富貴万福と祈べし。固より池と星
 まるひうと。公長の神より公紙一扱と出。是と扱
 上と。是とて爰ハ惜ぬ若剛希その思ひと。扱
 宅着あも池の中せ。の公紙と執書見まる。文字の取
 有がぬ。扱とあ。旭若小家て。扱扱。何日
 何の目。扱高申。何日。何日。何日。

年斗の同子穀虫成のさやと法せしきあはれは
 いがき かんきう さる ちしう ちよはうろく ちし
 岩剛大の感称し。去りても富敷の雨業一片のふ紙
 何の用とら形をどく。弄ひひし来きて思ひゆる。
 形もさ味味まける中平の物。是とひて拵し紙を
 我はぬ難ありと。あふとあふする親相の明りる。此
 是らて証さるる事と。自後岩剛苦力と業て。そ役し
 小移住し。米穀と交易して業と。ふ狐がよへ
 一紙は信てさう下と計で診るる發申びくつあひりく

全浪衣屋目く小増し。月くは増して忽富術
 の成くしりりる。そ后岩剛雨用者て車止力す
 返りらるが英成は遠びあ海は帰るるまが。旧業
 けろの茶店よ入て稽くえ息と休らほふ宛き人の
 仕士人續て入。岩剛お向つての子あく世ありれ
 する人も有るもの。我くが尋るる仇敵何来りるれ
 面牌骨柄は只わふ少くも送ふ事なく。由るる
 本より計と幕まで。返ふ一討く刀中母掛つた

言海三巻二巻

退て以爲よ彼のハ現公堅硬少く。須臾もあつと
 致すのよし。足下漸く後方と授てん。所爲の
 逸民く見遣ふる。公附てそとと實をり。ありや常
 刀の武士いへば。足下石敷あり。我くが母やふ赤
 まんめと佐も是しく。お交て供りる。あぞ。若劇
 是とて。公狐の考相符合。うると公はよふりく
 感。武門と於省る。故まうと。か。災害と當りり
 しく。もお若は。歸をりる。が。お。も。天乃ハ。淫り

猶善は後を。此の上。何の穢人。形容憔悴。て
 此ハ。巡撫と授ひ。サ。余の。少女。女抱せられ。或
 日。石劇。門戸。少。名。聞。是。と。見。て。企。て。去。り。我。と
 見。ん。知。る。ら。や。の。者。大。小。致。た。是。は。若。と。よ。く。ま。り
 報。り。る。由。悪。清。威。の。一。助。れ。バ。固。小。懺。悔。と。ま。を。る。し。
 我。く。母。比。田。穢。と。生。業。と。し。生。る。物。の。命。と。あ。る。之。邀
 悪。の。不。業。や。る。よ。つ。つ。ぞ。や。一。狐。と。捕。ま。て。是。を。若。の。知

狐りりし。君と侍中。女方の附合より言ふ。さう
 そのつみのが。とら。形も子奇疾と愁。然もあ
 む。結生る。今此と侍。一樹の蔭もさう。は
 前。梅と梅。は沈。若。園。中。て。室。は。狐りりし。
 我と侍。散。死。し。女。女。の。体。も。是。あり。つ。正。業。悪。の。体
 る。の。責。悔。の。切。切。の。廣。大。り。り。龍。是。我。汝。等。の。恨
 び。且。今。く。さ。あ。さ。の。傍。幸。ふ。若。う。一。狐。が。執。り
 中。く。さ。あ。の。汝。等。の。執。り。さ。し。ふ。仍。て。あり。志。く。れ。は

静。て。附。せ。む。ん。び。責。ぐ。び。と。ぬ。る。さ。う。と。ぬ。せ。む。れ。は
 雨。へ。公。認。小。徴。し。て。感。慨。し。感。く。能。く。し。て。此。て。門
 こ。戸。と。さ。ま。ら。る。室。や。善。悪。の。切。切。の。梅。の。後。の。送。ひ。形
 の。ど。い。狐。人。が。會。が。後。で。ら。と。附。る。が。ど。く。強。さ。り
 そ。の。此。小。信。信。ま。る。例。下。信。の。鄙。言。ふ。人。と。呪。詛。は。完
 あ。ら。う。し。る。事。官。介。さ。は。け。公。と。は。花。江。香。の。品。は
 呪。咀。諸。毒。藥。所。欲。害。身。者
 念。彼。觀。音。力。還。美。於。本。人

去^{おとろ}るも^{おとろ}思^{おも}ふ^{おも}く^{おも}何^あれ^あの

天^{てん}報^{ほう}なる^{なる}也^也

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, mostly illegible.]

